

## 自然素材で建てる健康住宅「香りの家」

井村木材ホーム株式会社 奈良県橿原市

昭和元年、大和高田で木材商として創業した井村木材ホーム株式会社は 80 年の歴史を有する、自然素材の良さを生かした本物の木造住宅を手がける住宅会社である。地元の吉野杉・吉野檜の無垢材をふんだんに使用し、珪藻土の塗り壁や和紙を活用。また、壁体内に二重の通気層を設け自然な空気の対流を利用した、夏涼しく冬暖かい「シーズンプレス工法」の採用や、広がりのある空間や吹き抜けにより快適な健康第一の住まいづくりを近畿圏に積極的に展開。地元の産業、地元の職人の技を生かして地域発展に貢献している。

### 創業から現在まで、歴史ある 80 年

昭和元年、井村木材ホーム株式会社はもともと木材商として大和高田で創業。昭和 2 年に製材所を、昭和 55 年に建設部を設立して建設業界に参入した。平成元年頃には吉野・南大和ニュータウンでの数多くの注文住宅建築でノウハウを蓄積した。しかし、大手住宅メーカーと同様に、新建材、集成材、ビニールクロスなどを使用した建物で差別化ができていなかった。当時からシックハウス症候群・アトピー性皮膚炎といった現代病も社会問題として話題になってきており、同社は「自然素材の健康住宅」に着目していた。



健康住宅「香りの家」

80 年の歴史を誇る木材商・井村木材が建築する家は、誰もが認める木材の一流ブランド「吉野杉」にこだわる自然で健康な住宅。木材商でもある同社は、そのメリットを十分生かし、直接山林家から吉野の原木を買い付ける独自の「産地直送システム」を構築し、物流コストを大幅に引き下げ、一般的には高く使われない、吉野杉をふんだんに使っている。

### 本物の素材にこだわる

奈良県吉野郡で産出され、日本一の良材といわれている吉野杉と吉野檜。奈良県内では柱などの構造材としては杉より檜を多く使用している。しかし、雪の多い北陸、信州、東北地方では以前か

### 会社概要



会社名：井村木材ホーム株式会社  
 所在地：奈良県橿原市木原町 177-1  
 電話：0744-29-5510（代）  
 F A X：0744-29-5505  
 創業：昭和元年 4 月  
 設立：昭和 61 年 10 月  
 代表者：代表取締役 井村 義嗣  
 資本金：2,000 万円  
 従業員：35 名  
 事業内容：建設工事の請負及び設計・管理、住宅のリフォーム工事、住宅の売買及び受託販売、建築用資材及び住宅機器の販売等

URL：<http://www.imuramokuzai.co.jp/>



本社社屋



吉野杉の香りが漂う住まい

ら杉が構造材などに多く使用されてきた。特に吉野杉は他県の杉と違い油分を多く含んでおり、強さと粘りがあって耐久性に優れている。

同社は、土台は吉野檜、柱は吉野杉を使用している。床材、造作材、建具にも吉野杉の無垢材をふんだんに使用し、柱や梁<sup>はり</sup>を見せて木肌と香りを活かしている。しかもこの吉野杉の中でも百年杉と呼ばれる最も評価の高い材を使っている。「従来、一本の木を建築材として活用できるのは半分ほどであったが、わが社では柱だけでなく梁、桁、床材、天板などに節のある木材も使用し、木をまるごと一本使い切り、コスト低減を図ることで『香りの家』が開発できた」と井村社長の言葉に力強いものを感じる。また、同社は素材に徹底してこだわり、ビニールクロスや合板<sup>むく</sup>などの化学建材の使用はできるだけ抑え、無垢の木を中心に珪藻土の塗り壁や和紙を使用して、健康的な住まいづくりをしている。

### 自然の力を使う工法 シーズンプレス工法

夏・冬衣替えができ、夏涼しく冬暖かい住まいを吉野杉や吉野檜 100%で実現した健康住宅「香りの家」。最近の家は冷暖房の効率性を高めるために高气密・高断熱につくられている。「香りの家」は、暖かい空気は上昇し、冷たい空気は下降するという自然の対流を利用する「シーズンプレス工法」を採用。

この工法は、家全体の内側壁の空気層を連続させることで、夏は床下換気口と小屋裏換気口を開くことで、外から流れ込んだ暖かい空気が通気層

を通り小屋裏換気口から外部へ流れ、部屋の中に熱がこもらない。一方、冬は両方の換気口を閉めることで、太陽で暖められた室内の空気が家全体を対流するため冷えない。このため結露や腐食を解消し、住まいの寿命を延ばすとともに、住む人の健康に貢献する。この工法で光熱費が抑えられるので、省エネルギー住宅でもある。

### 空間を活かした「広がり間取り」

同社の住宅は限られた床面積でも、間仕切りを少なくすることで広々とした生活空間を創造している。玄関ホールや廊下の無駄をなくし、引き戸を多くすることで空間が広がり、家族の成長や変化にも対応できる長寿命な家となる。また、良い空間は家族のコミュニケーションを深め、暮らしに潤いを与える。



広がりのある空間

### 住宅産業の地場産業への復活を願って…

井村社長は、「従来、住宅産業は地場産業であったが、現在の住宅産業は大手住宅メーカーが台頭して地場産業でなくなっている。わが社は地元の木材、地元で調達した資材、地元の大工、左官などの職人の技を生かし、お客様に喜んでいただける良い家を建築して、地場産業を少しでも活性化させ地元経済に貢献したい」と熱く語る。同社のこれまでの積み上げてきた健康住宅のノウハウ、人的なネットワーク、専属職人の技を生かした住宅づくりへの大いなるチャレンジに期待をしたい。

(武村)